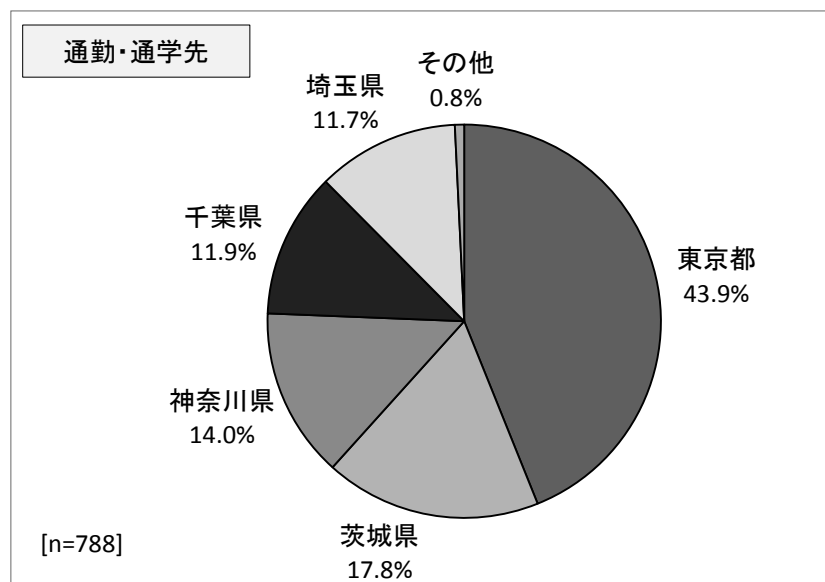


2. 通勤・通学先について

(1) 通勤・通学先

通勤・通学先は、「東京都」が 43.9%と最も高く、以下「茨城県」(17.8%)、「神奈川県」(14.0%)、「千葉県」(11.9%)、「埼玉県」(11.7%) となっている。

図表 1



《属性別》

性別で見ると、男女ともに「東京都」の比率が4割強と最も高く、次いで「茨城県」となっている。

年代別にみると、すべての年代で「東京都」の比率が4割強と最も高く、次いで20代では「神奈川県」、30代と40代では「茨城県」となっている。

居住地別にみると、居住地の都県内で通勤・通学している比率が高く、なかでも東京都と茨城県に住んでいる人はその傾向が強く、それぞれ9割強、8割強と突出している。

図表 2

